



SANSHIN GROUP Monthly Report on the ESG Jul.2021



Hiroshige Araki The Sky above The Great Wave off the Coast of Kanagawa
© 2021 ARABAKI



INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

TOP MESSAGE

SDGsがさかんに啓蒙され、気づけば（17項目を言えないであろう）多くのビジネスパーソンの胸にはSDGsのピンズが常態化している。SDGs、素晴らしい内容とは思いますが、ソレへの批判的精神も重要だろう。私が思うに、ソレは、「デファクト・スタンダード」である。思い起こせば90年代初頭、JISを捨て、ISOへ走った時と酷似する。欧州はSDGsをテコに再び主導権を握ろうとしているのだ。別に悪いことはないとは思いますが、この手のやり方は、ドイツ主導だろう。マルクス・ガブリエルを読めばそうも解釈できる。つまり、SDGsとは、そのようなソレである。

サンシングループ代表取締役社長
博士経営学 石井宏宗

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

東京オリ・パラリンピックが開幕しました。日本でも連日盛んに報道されていますね。今回は過去に類を見ないコロナ禍での開催となり、いまだ賛否両論が絶えません。しかしながら、やると決めたからには選手たちには悔いなく全力でやり切ってもらいたいと思います。(Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

The coronavirus epidemic has caused many to be concerned about the possibility of bringing bacteria and viruses into the home after being outside. Actually, all we need to do is a little advanced planning to stay safe. Divide your home into a "Buffer Zone" and a "Living Zone" to lower the risk of the virus from getting in. (V.K.)

CSI

セブは今も建設ラッシュで都市計画が行われています。その中で第二の橋 通称ニューブリッジに隣接する道路拡張工事が行われており、立体交差点にすると言われています。左折右折ラインも整備され、朝の渋滞が解消されてきました。(K.S.)

SANSHINWest

土砂災害という悲惨なニュース、胸が痛みます。梅雨の時期に限らず、近年局地的にまとまった雨が降るようになりました。災害時の避難場所や経路確認など、非常事態に日頃から備えなければと改めて思います。(C.S.)

SHINKOWA

新型コロナウイルスも変異株によって未だ感染者数が下がらず、逆に感染者が増加しています。もうすぐ、東京2020オリンピックが始まりますが、緊急事態宣言が出されておりますので（東京）感染しないように、観戦はお家でテレビで、今まで通り感染予防を実施しましょう。(M.N.)

SC2

ガンダムが見下ろすお台場の海でトライアスロンが行われてしまいました。あの海の大腸菌数はガンジス川の倍以上。ゴール後の地獄絵図は既に皆さんもご存じでしょう。今回の誰得五輪は、日本の衰退とIQの低さをこれでもかと世界に見せつけています。(M.I.)

ESG Report (品質)

今月のTOPICS

「時間に追われている人へ不安を和らげる方法」

「これをする時間がない」「今日もまたあれができなかった」など、時間が足りないというあせりを感じたことは誰にでもあるでしょう。私たちが生きている限り、時間に対する不安が無くなることは恐らくないでしょう。時間不安をなくそうとするのではなく、その気持ちをリセットすることがを心がけてみては如何でしょう。

1. リセットの合図を作る

リセットの前に、まずは1日の始めに「**セット**」する習慣を作ってみてはどうでしょう。リセットの上手い人には、朝に行う習慣があり、効率を高めている人もいます。自分の行動を振り返ってみるとリセットになっている習慣や行動があるかもしれません。無いならばリセットの行動を新しく取り入れることも出来ます。

2. 思考の前に行動する

「**時間割**」を作ってみては如何でしょう。時間割があると行動する前にいちいち考えずにすむ。つまり、「**考える前に行動すれば悩みが減る**」ということです。時間不安だけではなく、行き詰まったりやる気がなくなったというような気持ちのリセットにも「**まず動く**」ことは効果あります。

3. 呼吸法も実践

イライラしがちな状況には、「**呼吸法を実践してみても如何でしょう**」。日常生活でイライラ思考が湧き上がってきそうな時に呼吸へ意識を移動させると、ネガティブな感情が起こる回数が減ります。そして、ほんのわずかな時間でも充実感を味わえます。

4. 時間割も活用

「**時間割**」を活用することによって次に何をするか迷うことが少なくなります。スケジュール通りにはいかないのが当たり前と捉え、スケジュールは詰めすぎず、至急の仕事にもすぐに対応できるようにしましょう。予定通りに完了することにこだわりすぎると、時間不安が助長されてしまう可能性があります。

5. やらないことも意識する

時間が足りないという不安には、やることリストではなく、「**やらないことリスト**」も役立ちます。時間を無駄にする行動など禁止事項を挙げたもので、意識するだけでも変わってきます。

時間不安を感じたり、感じそうになったら、気持ちをリセットすることによって、毎日の暮らしをより充実させていきましょう。

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

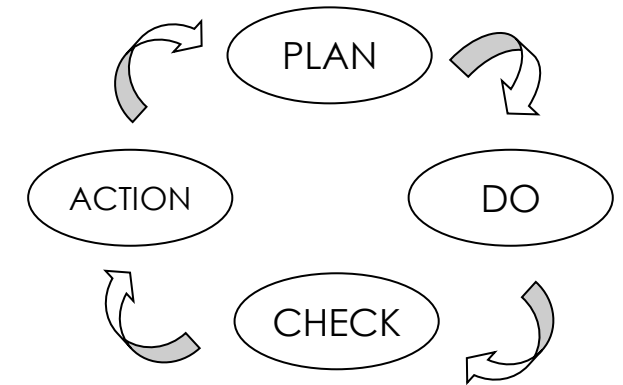
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



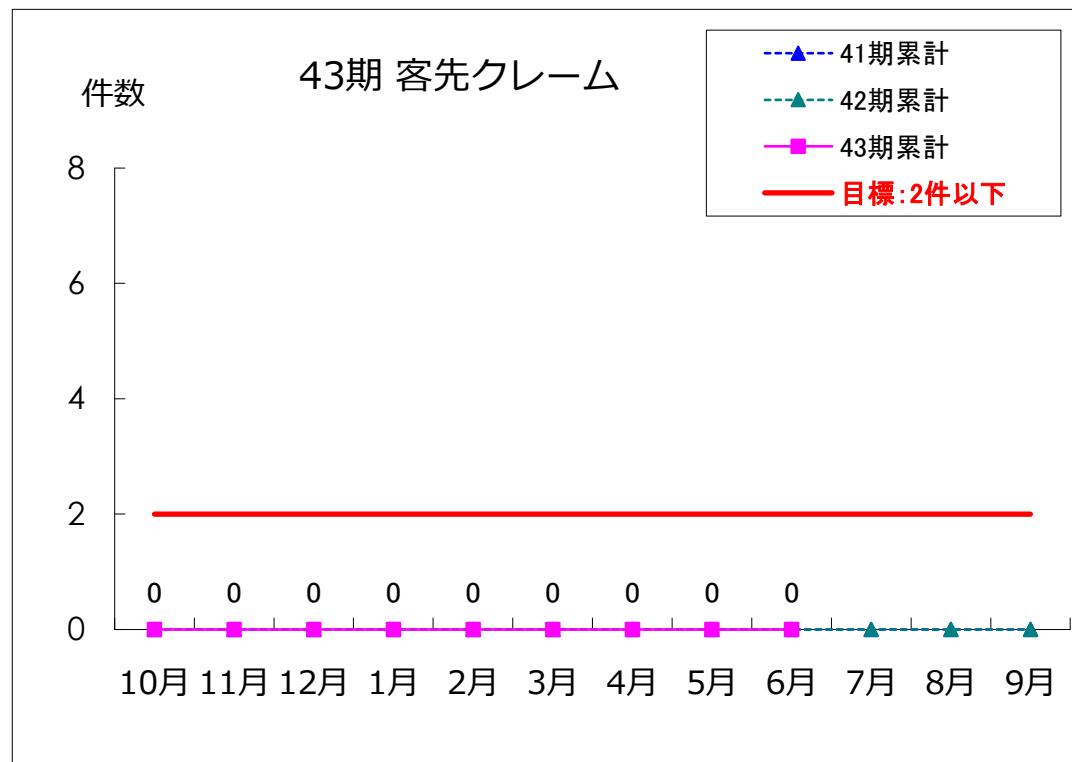
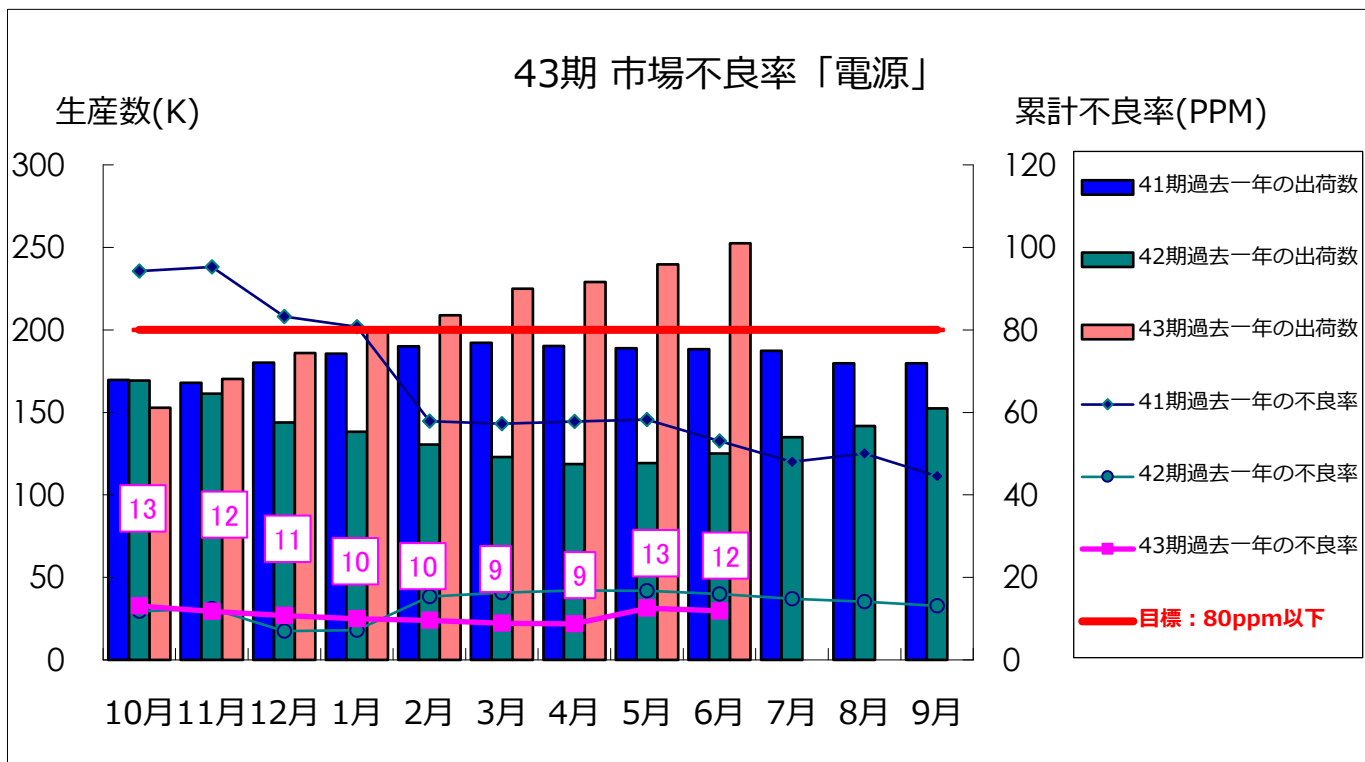
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入不良率 目標 80ppm

43期の累計不良率は、12ppm です。
 市場不良累計(過去1年分) : 2件 客先クレーム : 0件



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

□ オリンピックが変えた東京の街・「首都をきれいに！」

日本人はきれい好き。繁華街にごみ箱やごみが目立たず、分別収集が徹底され、公衆トイレは清潔で、イベント会場や乗り物ではスタッフが座席までごみを回収に来てくれることさえあります。世界最大級の旅行口コミサイトが発表する都市調査では、街の清潔度で東京がシンガポールを抑えて1位になったことも。外国人の印象度も高い、きれいな街になった歴史をたどると、昭和30年代、オリンピックを迎える東京では住民を挙げた「大作戦」が進行していたのです。

☑ 壊れた自転車やリヤカーが.....

東京都調布市。京王線飛田給駅から北に向かって通りを歩くと、2001年開業の味の素スタジアムが見えてきます。その手前をほぼ東西に走る甲州街道（国道20号）沿い、量販店や自動車販売店、飲食店が並ぶあたりの歩道脇に御影石の碑が立っています。1964年の東京オリンピック・男子マラソンコースで折り返し点となった場所です。56年前の10月21日、後にオリンピック2連覇を飾ることになるアベベ・ビキラ（エチオピア）がトップで折り返します。先頭を追う円谷幸吉に、君原健二に、寺沢徹に.....沿道の人々は大きな声援を送りました。調布市の広報紙「市報ちょうふ」（2016年10月5日号）は、「私たちが見たオリンピック」と題した企画で、大会1か月前から市赤十字奉仕団のボランティア延べ1000人がマラソンと競歩のコースに決まった甲州街道沿いの清掃活動を行ったことを、当時の参加者の声で伝えています。

「『選手が走るのに、クギ1本でも落ちていたら大変』と、ほうきとちり取りを持参して、雑草が伸びていた沿道を清掃しましたが、壊れた自転車やリヤカー、冷蔵庫まで出てきました.....」



マラソンコース沿道の清掃活動の様子
（調布市郷土博物館）

今月のTOPICS

マラソンコースが甲州街道に決まった理由は、大会組織委員会が1966年に発行した公式報告書に記されています。

「国立競技場が都心に近い市街地内にあるため、ここを起点、終点とするコースは、どの方向を選ぶにしても繁華街を通過せざるをえない。道路の一般交通がきわめて混乱している東京市街地をできるだけ避けて、すみやかに郊外に出られるコースを検討した結果、江戸時代からの街道である甲州街道が選ばれた」

道路幅が広くて歩道があり、舗装もされ、比較的平坦へいたんなコースとして選ばれたのが甲州街道で、調布市が折り返し点となったのは、国立競技場からの距離で決まった「偶然」でした。

折り返しの三角コーンが置かれたのは、南側の旧街道に並行してオリンピック開幕の3年前にバイパスとして開通した新しい甲州街道の上です。しかし、道路が開通するまで、コースの周囲は粗大ごみの格好の投棄場所になっていたようです。

☑ オリンピックの「1種目」として

現在では考えられませんが、昭和20年代から30年代にかけての東京は、人口や産業の過度の集中によって街にあふれるごみが社会問題となっていました。雑誌「都政人」の1954（昭和29）年5月号にはレポート記事があります。

「東京は『日本の顔』であるといわれる。だが、この顔の何と汚いことであろう...道路のあちこちに散らばっている紙屑くず...ところどころには汚物がうず高く積んである...今に東京の川という川は都民の捨てる塵芥じんかいで立派？に埋め立てられるかもしれない.....」

このころ始まった「街をきれいにする運動」は、オリンピック招致を機に生活環境を改善しようという都民総ぐるみの「首都美化運動」へと発展。「首都美化はオリンピックの1種目」のスローガンのもと、様々な活動が展開されたのです。目標の一つに「蚊とハエをなくす」とあり、時代を感じさせます。家庭や工場が垂れ流す排水で、「ボウフラさえわかない」と言われた隅田川でも浄化作戦が展開されました。五輪開幕が近づくと、毎月10日の首都美化デーには、都内のあちこちで都民がほうきを手に街頭を掃除する姿が紹介され、清掃事業の近代化にも取り組んだ街では急ピッチで世界の人々を迎えるための化粧直しが行われたのです。

今月のTOPICS

文化人類学が専門の斗鬼とき正一・江戸川大学名誉教授は当時の時代背景について「敗戦から十数年で、日本人は高度経済成長の道を進みながらも、自分たちがどうあるべきかという確固たるアイデンティティーを持ってないでいた」と考察しています。そのうえで「外国に対してもまだ劣等感が残っていた時代で、街の美化もマナーキャンペーンも欧米文化がお手本。オリンピックという格好の機会を使って世界にきれいな日本を見せたいという上からの呼びかけに応じる素地が、国民一人ひとりにあったということでしょう」と話しています。国際オリンピック委員会（IOC）委員も務め、「オリンピック知事」の異名をとった東龍太郎都知事（当時）は大会を前に自著「オリンピック」で「人口ばかり多くて、喧騒で、汚れた、不健康な都市であっては日本全体の恥である……劇的なオリンピックの開催をきっかけに、劇的な東京の再生の第一歩を進めたい」と、街づくりへの強い決意を披瀝しました。首都美化運動は五輪のための弥縫策にとどまらず、その後も10年以上続いて、人々の意識改革をうながし、清潔な近代都市・東京の「レガシー」となったのでした。

☑ 清掃事業の近代化

オリンピック招致を契機に東京都は首都美化運動と連動して清掃事業の近代化にも取り組みました。それまで、各家庭はゴミを路上に置かれたコンクリート製や木製のゴミ箱に捨てていましたが、作業員が不衛生な環境を強いられるうえに、ゴミ箱は町の景観を損ねるなどと指摘されていました。そのため各家庭に蓋つきのプラスチック製バケツを購入してもらって収集日にゴミを出すやり方に変更。東京23区では1963年度末までに新方式が実施されました。この時採用された積水化学のゴミ容器は全国に普及して大ヒット商品となり、「清掃革命」と言われました。



ゴミ箱（奥）に代わって普及した
プラスチック製バケツ

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



活動報告

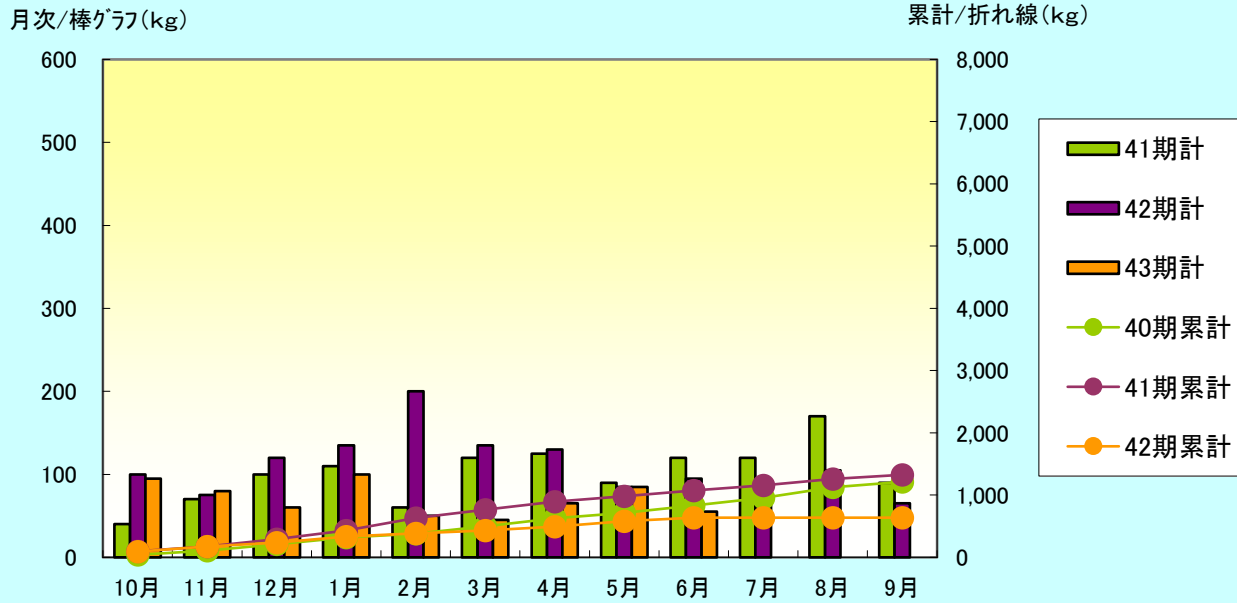
- ①環境への取り組み
- ②廃棄物排出量
- ③コピー用紙使用量
- ④電力使用量
- ⑤切手・ペットボトルキャップ回収

環境への取り組み

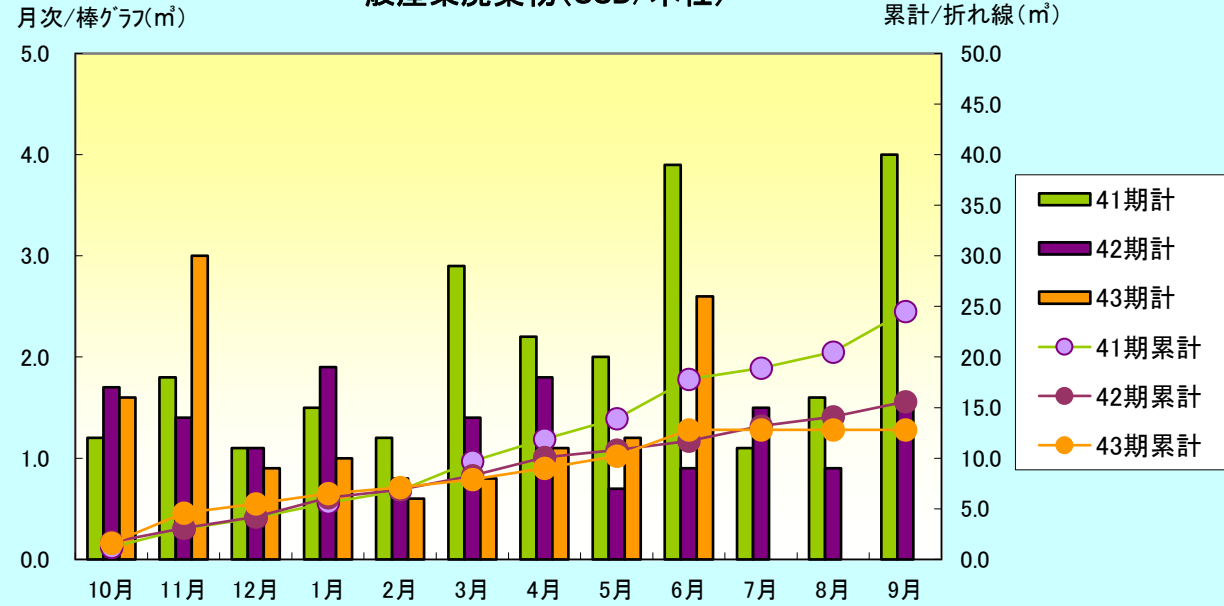
- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



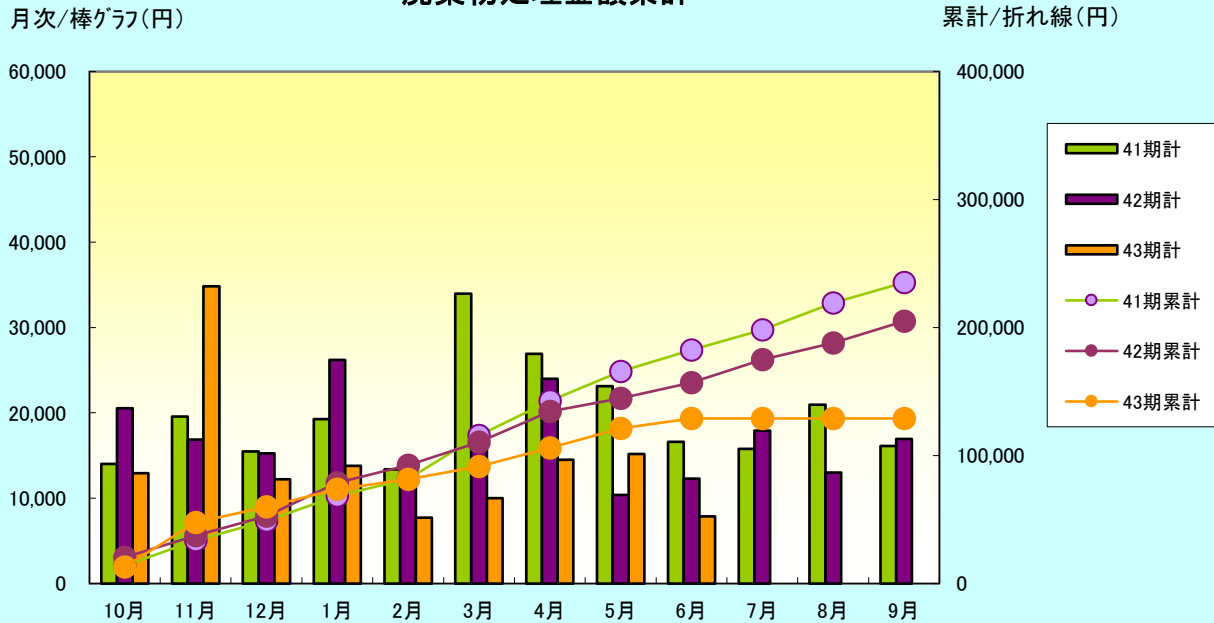
一般廃棄物(SSD/本社)



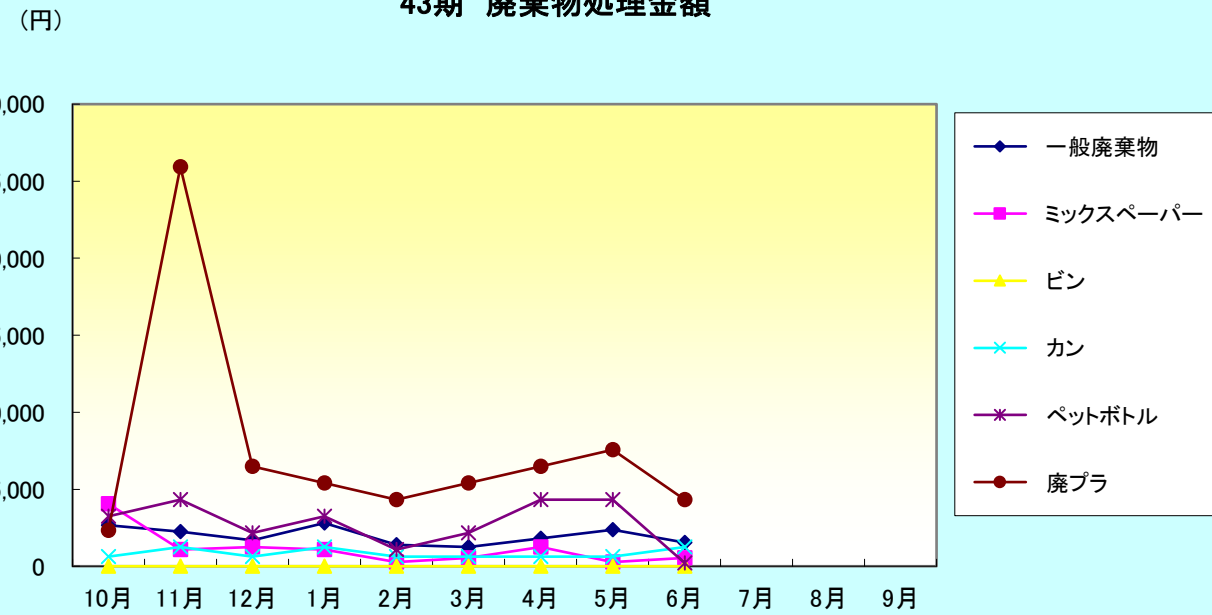
一般産業廃棄物(SSD/本社)



廃棄物処理金額累計



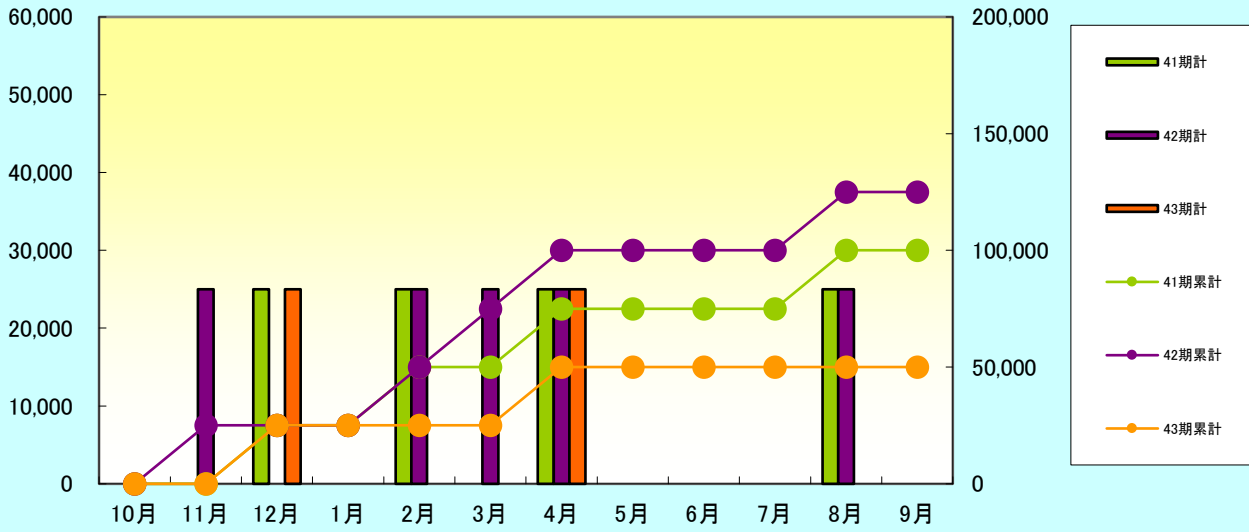
43期 廃棄物処理金額



コピー用紙購入量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(枚)

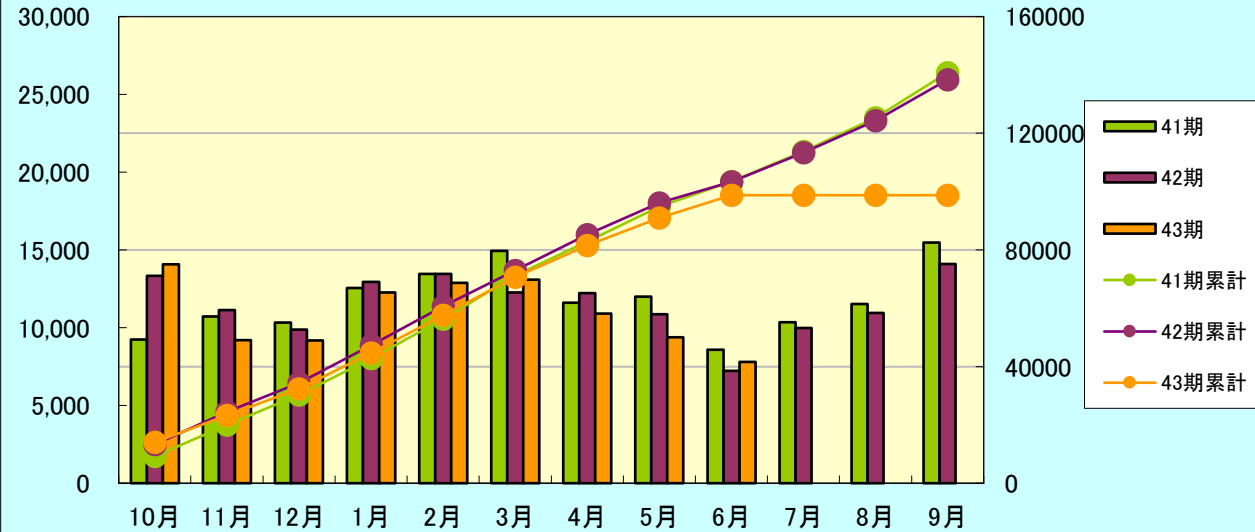
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

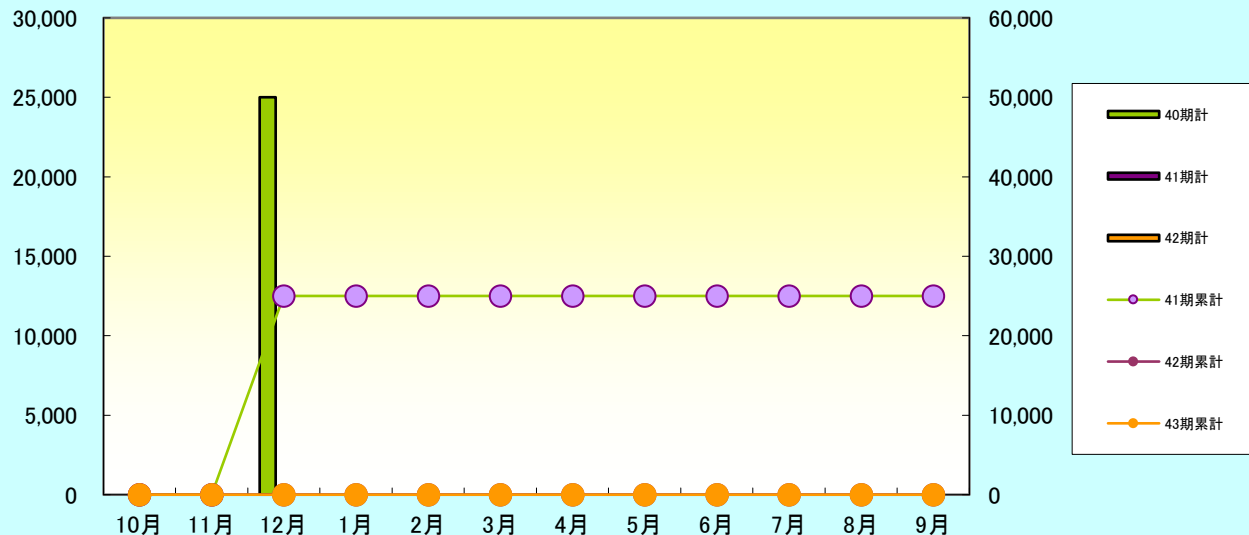
累計/棒折れ線(kwh)



コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(枚)

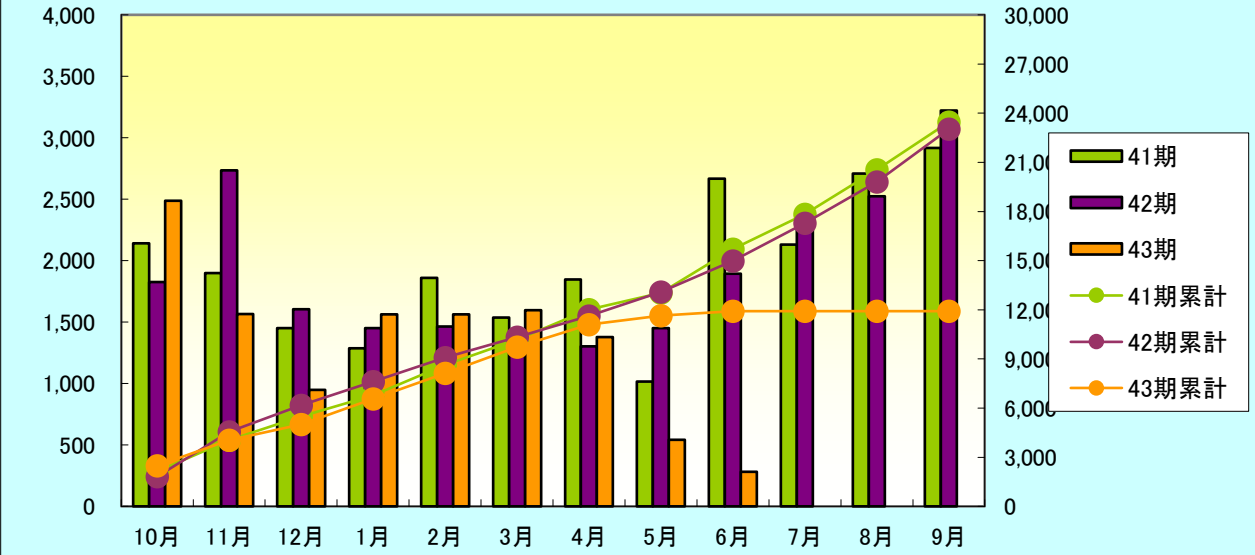
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

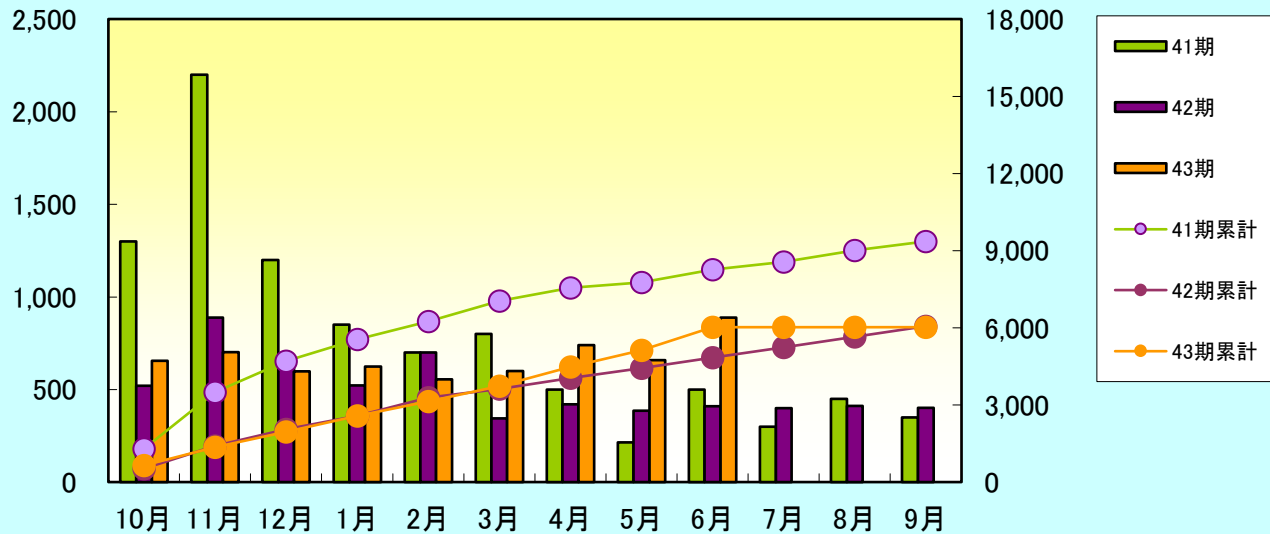
累計/折れ線(kwh)



ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

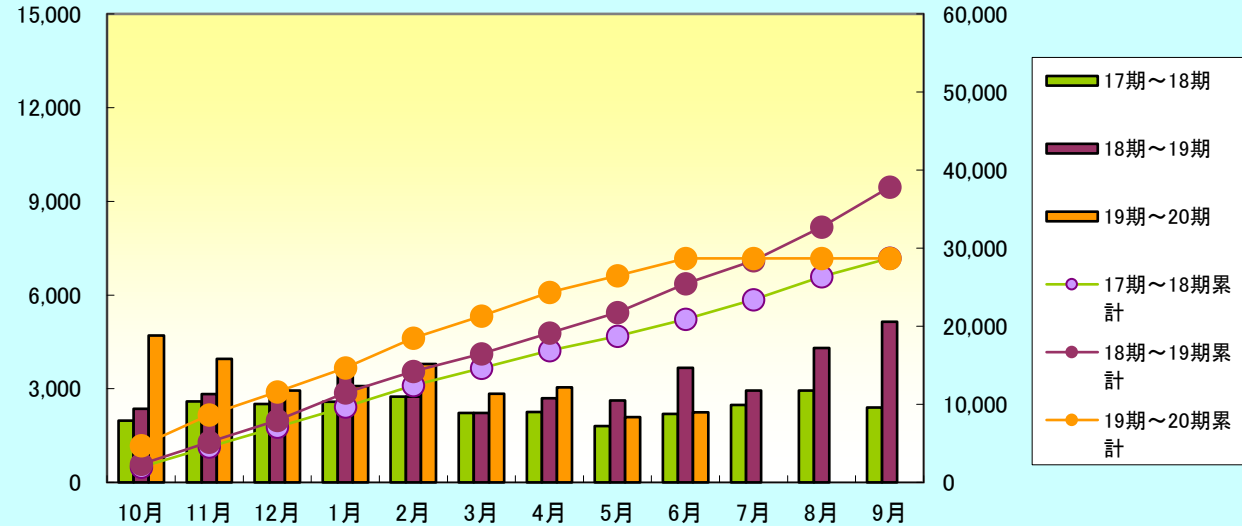
累計/折れ線(個)



電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

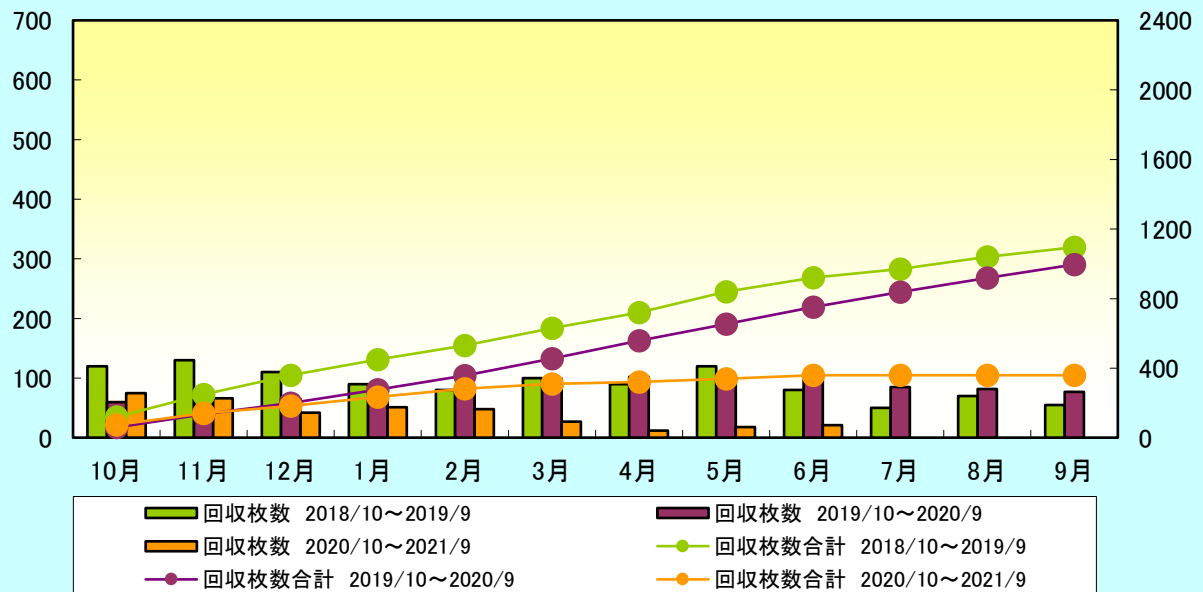
累計/折れ線(kwh)



使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

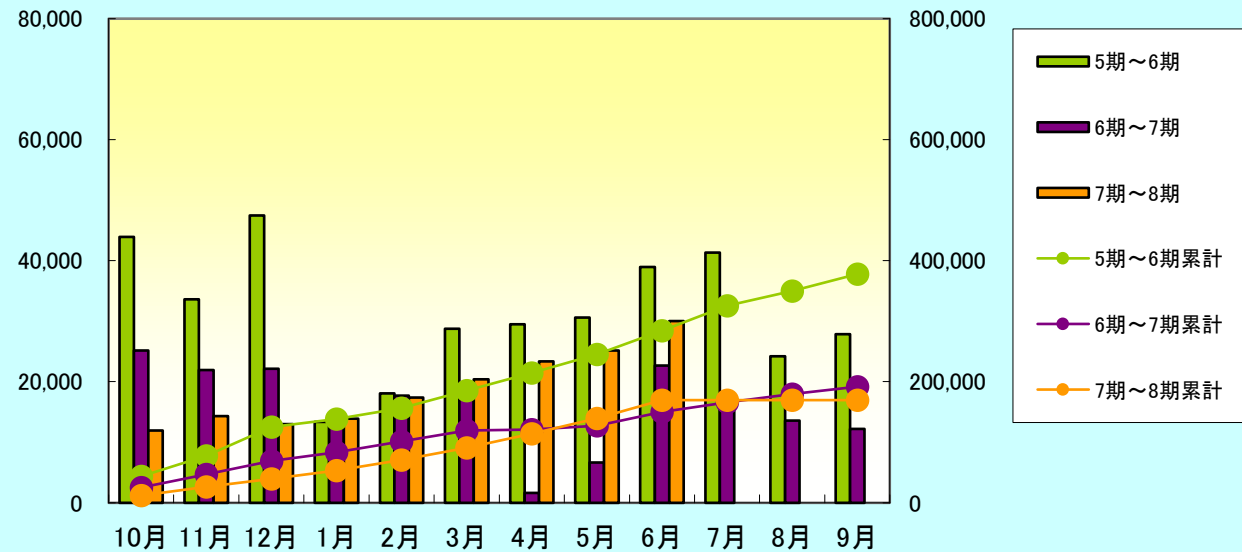
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

●一般社団法人ICTマネジメント研究会 第二回学生小論文アワード授賞式を執り行いました！

一般社団法人ICTマネジメント研究会が主催する学生小論文アワードの授賞式を7月29日にオンラインにて執り行いました。

今回は「ICTと社会問題のかかわり」をテーマに小論文もしくはエッセイ形式で募集し、高校生15名、大学生及び大学院生14名（グループなどの投稿も1名とカウント）からの応募がありました。

オンライン授賞式では4組5名の石井賞受賞者を表彰し、審査員の先生方から講評や祝福の言葉が贈られました。石井賞受賞者にはトロフィー・表彰状・商品券、特別賞受賞者には表彰状・商品券が贈られます。

サンシングループではICTマネジメント研究会を通じて、これからもCSR活動を積極的に展開してまいります。



活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（6月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 動物介在ボランティア活動実施（ミタスライフ）
※2020年8月時点では、コロナ禍により活動を休止しています。
- 学習塾において生徒のコーチング＋学習支援事業を実施（ミタスライフ）
- 季節の飾り物をエントランスにディスプレイ：七夕飾り

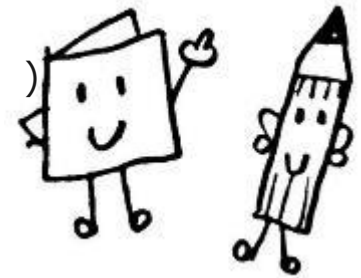


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 永年勤続者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種費用を会社が補助
- 毎月「健康筋力養成コース」開講（6～10名／回参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2021年5月更新）⇒5年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2021年3月）⇒4回目の認定取得！
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ 新入社員を対象としたサンシングループ石井代表による「新人勉強会」を開催中
(2/19「2050年の経済覇権」、3/12「自由論」、5/14「人生、仕事と創造」、6/25「知識と思考」)
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCA'を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



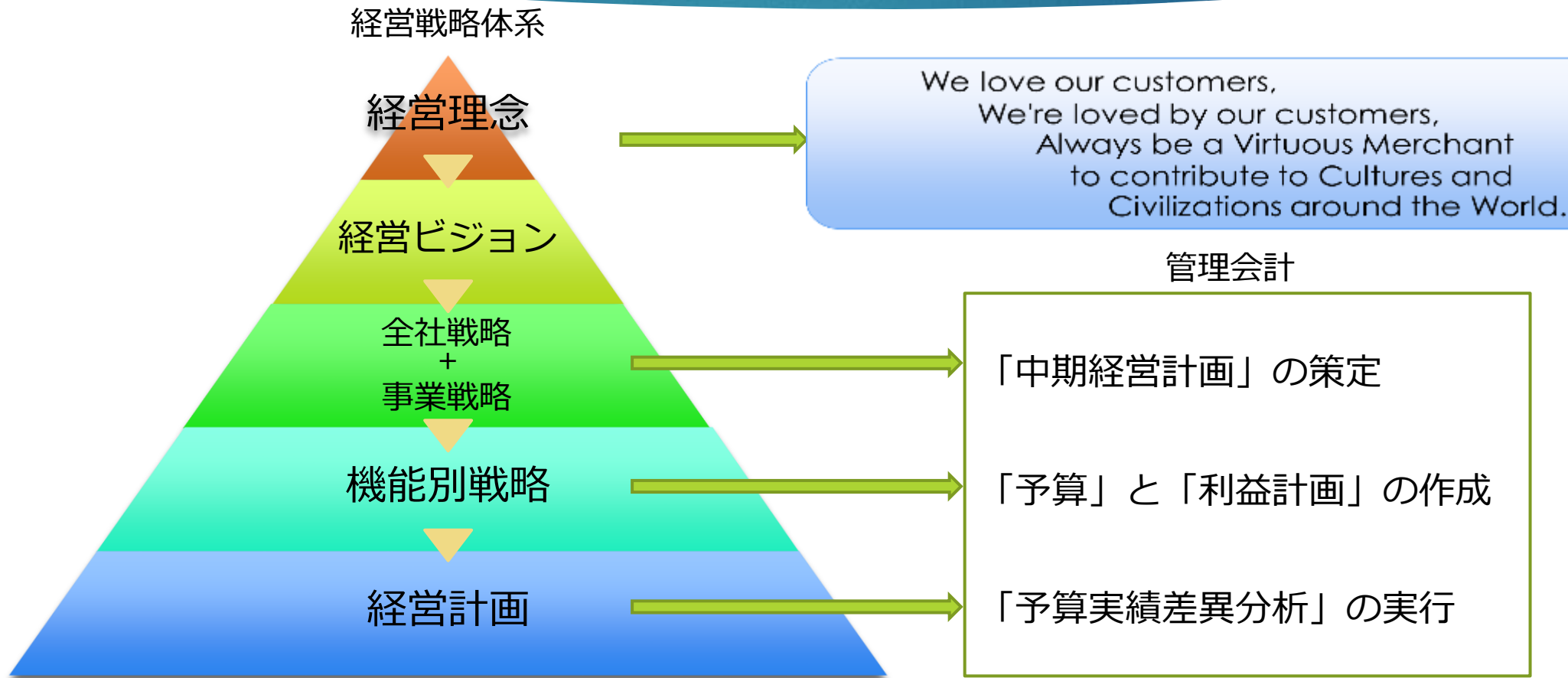
サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

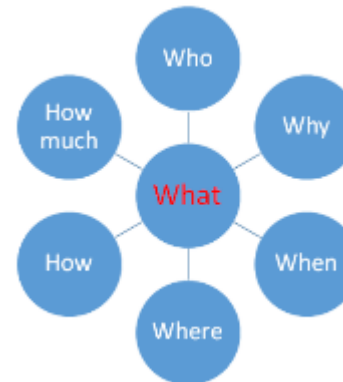
マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



ビジネスの5W2H

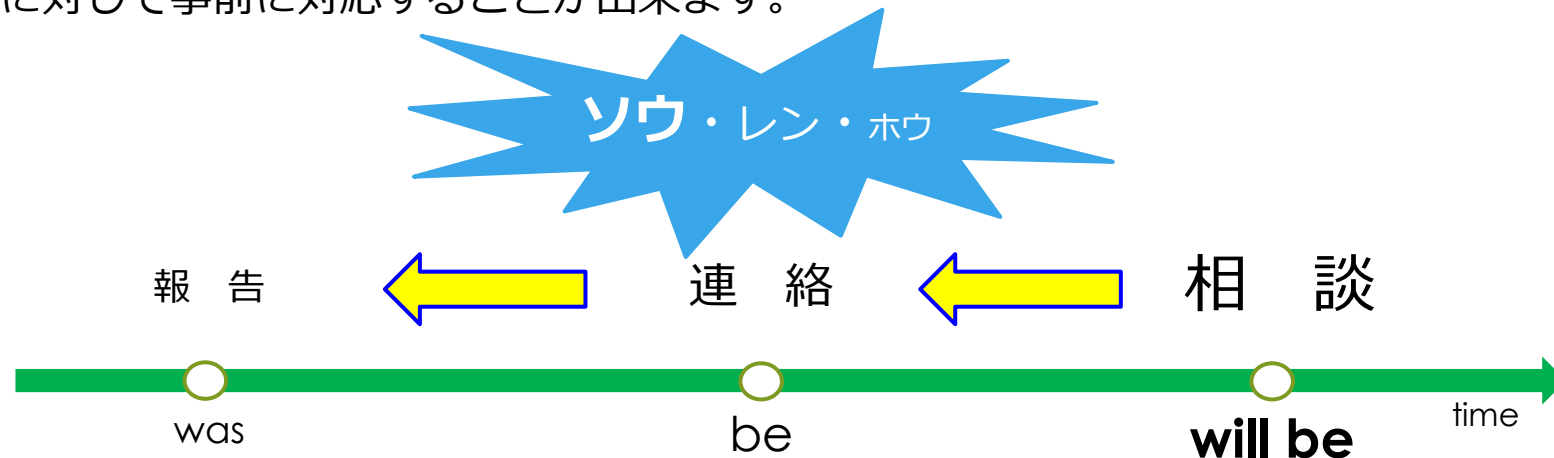


PDCA→P' サイクルの概念



未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、2011年



編集
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

世界で新型コロナワクチンの接種が進んでいます。日本でも遅ればせながら各地域で接種が始まっているようです。しかしながらワクチンを接種したとしてもコロナに罹患しないというわけではありません。接種後も手洗い・うがい・消毒・マスク、また密回避は引き続きお願い致します。